

環境調査・測定・分析

環境計量士

この仕事のキーワード

- ☐ 環境問題
- ☐ 公害
- ☐ 環境保全
- ☐ 社会・地域貢献
- ☐ 化学
- ☐ 国家資格

こんな人に向いています

- ☐ 社会の役に立ちたい
- ☐ 環境分野に関心がある
- ☐ 理系科目が得意
- ☐ 研究や実験が好き
- ☐ 説明をするのが得意
- ☐ 探求心がある

▶▶ 職場ではこんな人も働いています

●営業 ●総務 ●調査 ●測定 ●分析



皆さんの日々の生活を守るため、正確で客観的な環境計量を行っています

私たちが便利な生活を送るためには、汚染物質により環境に負荷をかけることが多くなります。また日本経済が発展してきた影には、公害などの原因にもなった有害物が多く存在します。持続可能な発展を遂げていくためには、これらを分析し把握する必要があります。水や空気、土壌などに含まれる物質について適切な分析（環境計量）を行うのが環境計量士の仕事です。測定結果が石川県の資料で発表されるなど公共性の高い仕事でもあり、社会的責任も感じています。

CHECK

私がこの仕事に就いたきっかけ

子供のころから自然科学が好きで、大学は理学部に進学。就職活動中に分析や調査を業務としているこの会社を知りました。入社後は調査や分析の部門で働きながら、ステップアップのために環境計量士の資格取得を目指し、何度かの挑戦を経て合格できました。

入社 16年目 石丸さん



環境計量士の仕事内容

打ち合わせ

毎朝、分析課のメンバーが集まり、当日のスケジュールを確認します。業務管理、役割分担、今後の業務などについてメンバーと情報を共有します。

分析

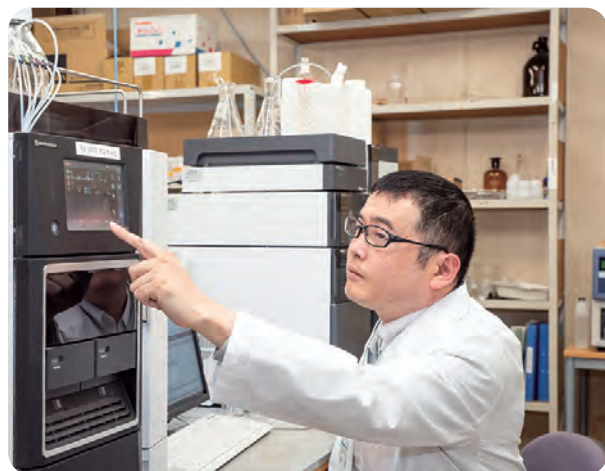
様々な装置を用いて水質・土壌などの有害物質分析を行います。中には分析の難しいサンプルもありますが、試行錯誤して、正確な結果を出すように努めています。

分析値のチェック

報告書の責任を持つのは環境計量士の役割。分析結果に問題がないかを確認します。基準値が見直されることもあるので、最新のものが常にチェックが必要です。

結果のフィードバック

分析をして悪い結果となった場合、原因を突き止め改善策を提案することもあります。お客様の依頼に応えるのはもちろん、環境分析のプロとしてアドバイスします。



CHECK

必要な資格・スキル

- 環境計量士（濃度関係）
- そのほか、技術士（環境部門）、技術士補、作業環境測定士、公害防止管理者、土壌汚染調査技術管理者、危険物取扱者等の資格が役立ちます。
- 化学の知識やスキルがあれば分析業務に生かせます。



株式会社環境公害研究センター

金沢市金石相生町1-17 TEL/076-268-5330

創業/1978年3月 従業員数/32名

支社/野々市ラボ、京滋営業所



出張 授業 OK

HP



株式会社環境公害研究センターではこんな仕事をしています



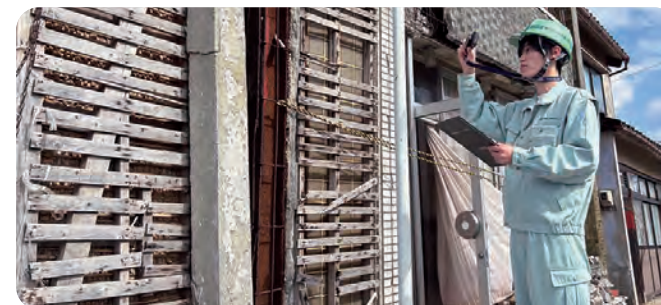
環境DNA解析

河川や湖沼などの水に含まれる生物の体液やうろこ、排せつ物由来のDNAを調べることで、生息している生物の調査を行います。最新の分析装置で解析し、生物の痕跡を見つけ出します。



技術営業

国家資格を保有する担当者が、環境に関する知識と経験を持って営業を展開しています。調査の結果によって、お客様の課題を発見し、さらに課題解決のためのアドバイスをします。



石綿（アスベスト）調査

建築物や工作物を改修・解体する前に、発がん性物質である石綿使用の有無の調査が義務付けられています。能登半島地震では多くの建築物や工作物を調査しています。



鉄道・道路交通騒音

鉄道や道路沿線の地域における騒音の実態を的確に把握するため、騒音・低周波音・振動を調査。必要に応じて原因特定のための周波数分析や予測・評価、対策検討も行います。

県内の高校生と共働で石川県内の河川に生息する魚類調査を実施

地域貢献の一環として、環境学習への参画を積極的に行っています。環境学習では、子供たちに環境への関心を高めてもらえるように、学校行事や野外観察会などで安全で楽しく学べる企画や体験内容を提案、そのために必要な専門スタッフや設備を提供しています。石川県内の四つの高校の生徒・先生と河川に生息する魚類調査を行い、勉強会を実施しました。

